

かなね

長久手市立長久手小学校

校長 森田 浩 暮

校 訓：明るく 強く 正しく

学校教育目標：夢と希望をもち 進んで学び 挑戦し続ける 長小の子



21世紀型スキルとは??



朝夕は涼しくなり、日によっては肌寒さを感じる季節になりました。先日は5年生野外活動、6年生修学旅行の宿泊行事を無事に終え、小学校時代の貴重なアルバムの1ページを素敵な思い出で飾ることができました。現在、子どもたちは11月5日(土)に行われる運動会に向けて一生懸命練習に取り組んでいます。今後もコロナウイルス感染防止に努めながら、従来の教育活動を徐々に再開していきたいと考えています。保護者の皆様には、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

子どもたちは小学校、中学校、そして、高等学校と進学することで、様々な分野の知識に触れて、すでにある知識や決まったものの考え方に適応するような教育を受けているのが現状です。それに対して、スタンフォード・オンラインハイスクール校長 星 友啓先生は、著書『子どもの考える力を伸ばす教科書』において次のように述べています。

予測不能な進化を続ける現代社会において、これまでの考え方や価値観に適応するだけでは、来たるべき変化の激しい未来社会を生き抜くのは難しい。そこで、子どもたちがこれからの社会を生きる上で身につけるべき能力は何か?このような問いに様々な国や地域で活発に議論された結果、7つの「21世紀型スキル」が提唱され、それを視野に入れた教育を行うことの重要性を紹介しています。

- ① コミュニケーション力：周りの人と情報や意見を上手にやりとりする力
- ② コラボレーション力：周りの人とうまく協力しながら、課題や問題に取り組む力
- ③ 自国文化及び異文化理解：自分の国の文化を理解しながら、他国や異文化の価値観や世界観もオープンに受け入れて、理解できる力
- ④ ICTスキル：コンピュータやテクノロジーを有効活用する力
- ⑤ クリエイティビティ：新しく役に立つアイデアを生み出す力
- ⑥ クリティカル・シンキング：物事の前提や論拠をあぶり出し、批判的に考える力
- ⑦ 問題解決能力：目の前の課題を分析して、適確な解決方法を生み出す力

長久手小学校においても、子どもたちが夢と希望をもち、進んで学び、挑戦し続けることができるよう、「21世紀型スキル」の習得を見据えた教育活動を推進していくことが大切であると考えます。

校外学習で、いざジブリパークへ

11月1日、「ジブリパーク」が愛・地球博記念公園(モリコロパーク)内に開園します。ジブリパークは5つのエリアから構成され、今回は「青春の丘」「ジブリの大倉庫」「どんどこ森」が、来年度には「もののけの里」「魔女の谷」の開園が予定されています。長久手市内小学校優先枠で予約をとることができ、子どもたちは校外学習で「ジブリパーク」に出掛け、「ジブリの大倉庫」と「どんどこ森」を見学する予定です。各ペア学年での校外学習の日程は次の通りです。

- 1、6年生 令和5年1月19日(木)
- 2、4年生 1月20日(金)
- 3、5年生 1月26日(木)

※ 入園料及び交通費は全額長久手市の負担になります。

※ 持ち物など詳細につきましては、後日お伝えします。

